

2011年3月号

平和憲法を守ろう!

9 ひらつか



9条の会 ニュース

文責：事務局長 司法書士 大谷 潔 TEL0463-24-0702/FAX 24-0712

連絡先：〒254-0811 平塚市八重咲町2番8号エケルブルビル3階 平塚松風司法書士事務所

Email: matsukaze@mb.scn-net.ne.jp

平和カルタ

「平和の要をめざす会」より

④ ハルモニ達の今だ癒えぬ

戦争の傷、補償せよ、日本政府

③ 悲惨な戦争、もうゴメン、

9条守って平和な未来へ

② 普通って 平凡とも言うけれど

明日があるって そういって

① 平和とは 安心すること。

せめて守ろう「平和憲法」

⑤ 星の数 知らないうちに

数えています。

そういえば 太陽も星でした。

私と憲法の特集

★私の小学生低学年の時に六〇年安保闘争があり、意味もわからず「アンポーハンタイ」と唱えながら、遊んでいたことを思い出します。

★テレビ映画で「ビルマの豎琴」を見たとき、泥に累々と重なっている死体を見て、戦争の悲惨さを知りました。

★平和について考えるようになった時、三島由紀夫が自衛隊にクーデターの決起を呼びかけ、自殺したニュースを見ました。軍国主義化の方向へ進んでいるのではと怖くなりました。

★フォークソングが流行した時に「自衛隊に入ろう。自衛隊に入ればこの世は天国」という自衛隊を皮肉った歌を聞いて、胸がすつとするのを覚えました。

★大学時代は「沖縄をかえせ」「安保廃棄」のデモに参加していました。そして、次々と革新自治体が誕生しました。京都府庁には「憲法を暮らしに生かそう」という垂れ幕が青空に翻りました。

★そして、いつかは国会議事堂に「9条を世界に広げよう」という垂れ幕が青空に翻ることを期待したいです。

ひらつか・9条の会 新年会報告

事務局 小山 剛司

1月15日（土）午後1:00から平塚YWCAで行った。参加者は12名。最初に、事務局長の挨拶。



「政府が武器輸出三原則を一部解除する動きがある。これは米国が、日米共同開発している迎撃ミサイルを第三国に輸出したいので、日本政府に圧力をかけたため。会は反対の宣伝行動を予定している。ご協力を。」乾杯の後、参加者が思い思いに戦争のこと、平和のことを語りあった。

矢崎九条の会からは二名参加。「ひらつか9条の会の大型企画を期待している。出来るだけ参加したい。」との発言があった。

事務局の一人が会員にニュースを手渡していた時。その会員が、偶然にも60年前の高校時代にバスケット試合をした相手とわかり、新年会に参加したというエピソードが語られた。東京大空襲で逃げ回った会員が、「悲劇はその後で、焼け跡からの生活が大変だった」という話がなされた。元新聞記者が、「マスコミの報道は嘘が多いので騙されてはいけない。」との発言があった。また、平塚空襲の跡が残り少なくなったという話もでた。



「武器輸出禁止三原則」の緩和反対宣伝活動報告

事務局長 大谷 潔

1月10日（月）成人の日 12:30～15:30 総合公園の総合体育館前にて、新成人を対象に、武器輸出三原則緩和の反対を呼びかけ、ビラを配布し、新成人7名から署名をいただきました。憲法改正国民投票権を得たばかりの新成人に聞いてもらえたことは、大きな収穫だと思っています。署名は50名分集まったので、署名を内閣総理大臣官邸に送付いたしました。武器輸出三原則の緩和は、昨年末の防衛計画大綱に盛り込まれることは見送られましたが、今後再浮上してこないとも限りません。日米共同開発している迎撃ミサイルシステムを米国が第三国に輸出したいから、というのが動機だそうです。武器商人を利するために、日本国民の平和を願う心を浸蝕されないように、今後も行方を見守る必要があります。

私と憲法九条

加藤 俊光

私が初めて憲法9条を読んだのは、中学校の社会科の授業でした。その時は特に何の意識もなく、ただ戦争放棄・戦力不保持・交戦権の否認と覚えたただけだと記憶しています。そんな私も、大学や資格取得のための試験勉強で憲法に触れ、また結婚して子供を持つにつれて意識が変わってきました。思うに、わが憲法は先の大戦の反省の中で武力や戦争では決して国際紛争を解決することはできないことや世界平和を実現することはできないことを確信し、軍隊や武力による解決ではなく対話によって解決を図るという困難かつ不自由な道を選びました。とすれば、あえて困難かつ不自由な道を選んだわけですから、当然そこには忍耐と地道な努力の積み重ねを要求されるという試練が待っていることは言うまでもありません。政治家や官僚だ



けに任せるのではなく、私たち国民一人一人も各々の立場で忍耐と努力を積み重ねながら、粘り強く信念を持って対話による世界平和の実現を図る姿勢を保持し続けてはじめて国際社会の中で名誉ある地位を占めることができるのではないのでしょうか。

これからも、私は自分の立場で一人でも多くの方に憲法の理念を伝え続けていきます。

雑感 — 安保と改憲で思い出すこと —

会員：田口 三省

高校時代、60年安保改定の頃

安保改定の頃、故郷の町ではS大学生のデモ。筆者が通っていたS高校の、どちらかという右派的言動のあった友人が、二階の教室の窓からそのデモ隊に向かって批判的なことを怒鳴っていたことなどを、懐かしく思い出す。

安保は、今後どうすれば良いのか。話は飛躍するが、東アジアでも究極的にはEU的な組織の出現を待つほかなさそうだ（今、ASEANプラス何か国と言う枠組みはできつつあるが）。そういうことを推進する政党・政治家の出現を期待したい。そして、米側、中ソ側双方に、軍備の漸減を働きかける。そういう考え方の根っ子にあるものは、「世界連邦」などと言うものを夢想した高校生の頃も、今も変わらない。

民主党・枝野氏の“私は改憲論者ではない”発言

5、6年前、東京・日比谷で開催された憲法改正に関する朝日・毎日両新聞社共催の討論会を聴講した。民主党は党・憲法調査会長（当時。現.官房長官）の枝野幸夫氏、自民党は船田衆議院議員の両氏が来賓として出席。司会者が「今日は両党の憲法改正論者であるお二人に……」という紹介を始めた途端、枝野氏は即、手を挙げてそれをさえぎり、“私は改憲論者ではありませんッ！！”と、司会者の発言を一蹴、聴衆はビックリ。討論会の内容よりも、そのことが印象強く、記憶に残っている。自分としては、今後も枝野氏のリーダーシップに期待し、民主党が党としても軽々に改憲に走り出さないことを期待している。

今後の活動予定

●第26回定例学習会 参加費 資料代として、500円

『憲法9条こそ最強の安全保障政策だ』

日時 3月26日(土) 14:00～16:00

場所 JAビル2階市民活動センターA・B会議室

講師 天木直人氏(元レバノン大使)

略歴

1969年外務省入省。中近東アフリカ局アフリカ第二課長、内閣安全保障室審議官、
在マレーシア公使、在オーストラリア公使、在カナダ公使、デトロイト総領事、駐レバノン大使
主著

「さらば外務省！」 「さらば日米同盟！」 「怒れ、9条！」 「アメリカの不正義」

「さらば小泉純一郎！」 「ウラ読みニッポン」

天木直人氏は、小泉内閣がイラクへの自衛隊派遣を決定したことに現職レバノン大使として反対意見を表明して、外務省を去った人です。「冷戦が終結した現在、日米同盟は不要である。米国がパレスチナ人を迫害するイスラエルを支援しているから米国がテロの標的になっている。パレスチナ問題を解決しなければ、中東に平和は来ないし、テロもなくなる。9条こそが日本にとって最大の安全保障である。」というのが天木氏の講演の趣旨です。

●例会 毎月第一土曜日

(4月2日/5月7日)JAビル2階市民活動センター

“例会ではミニ学習会、奮って御参加を！”

当9条の会では、毎月の例会の中で小さな学習会(「ミニ学習会」、或いは「勉強会」という)を行っています。日米安保条約とそれに関連する事項を、『世界』(2010年6月号)の記事と、戦争と平和に関する国際法等も併せて学び、基礎的な言葉とその意味を知ることにより、9条をはじめとする日本国憲法の真髓と価値を学習します。

●宣伝活動

5月3日(憲法記念日) 平塚駅北口 14:00～

憲法九条の役割や武器輸出解禁反対の宣伝・署名。活動にご協力を！

●第27回定例学習会

日時 5月21日(土) 10:00～12:00

場所 JAビル2階市民活動センター会議室